

マレーシア便り (第7回)

兵庫県立津名高等学校
理科 物理担当 井俣 由貴史

みなさん、こんにちは。日本は秋ですね。日中は過ごしやすくなってきていますが、朝夕は寒いと思います。寒暖の差が激しいと思いますので、風邪などひかれませぬようお気をつけください。

マレーシアは寒さ知らずで暑い日々が続いております。しかし、雨季が近づいてきたせいか、最近では 15~16 時くらいになるとスコールのような激しい雨が降ります。昨年は雨季にしっかりと雨が降らなかったのが原因で乾季は水不足に悩まされました。この激しい雨で学内の大木が折れたりもしましたが、来年の乾季に水不足にならないようになってほしいと思います。

先月の続きですが、2 年生（このプログラムでは日本留学をするために 2 年間勉強します）の生徒との面談をも終わり、留学申請する日本の大学が決定しました。申請する大学は北から南まで様々です。北は北海道大学、南は宮崎大学です。関西では和歌山大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、鳥取大学、島根大学で各大学の工学部です。津名高校の生徒も進学先で出会う可能性も大です。お互いに、いい出会いができたらいいなと思っています。

さて、以前にも書いたことがあります。11 月 9 日（日）日本留学試験（EJU）が近づいてきました。残り約 2 週間です。日本のセンター試験に感覚は似ています。日本語、数学、物理、化学です。生徒も教員もとても気合いが入っています。先日は物理科で 20 時~22 時で「夜学」ということも行いました。（イスラム教のお祈りの関係でこの時間です。寮も近くにありますが。）たくさんの生徒が参加し、大盛況でした。教員の手が足りなく、あっという間の 2 時間でした。良い試験結果になることを切に願っています。

日本でも進路決定に向けて大事な時期ですね。就職、進学等々様々だと思いますが、生徒には目標に向け、自分に負けないように過ごしてほしいと思います。遠くからですが、応援しています。

次は 1 年生です。1 年生は 6 月に入学しました。6~10 月上旬まではマレー語や英語で数学、物理、化学を学びますが、一日のほとんどは日本人の日本語の教員（ほとんどの教員が国際交流基金から派遣されています。）から日本語を学びます。（マレーシア人の日本語教員もいます）そして、ついに 10 月中旬から私たち日本人の教科（数学、物理、化学）の教員（教科の教員が文部科学省から派遣されています。）が日本語で各教科を教えることがスタートしました。5 か月間しか日本語を学習していないにも関わらず、日本語を結構理解しています。しかし、日常会話と教科の日本語表現の間には大きな違いがあり、私たち教員もとても苦戦しています。難しい表現を簡単な表現に直す、文章を複文にしな

い（文章を短くする）、文節で切るなどです。それでも、専門用語はありますので、それは英語で説明したりします。英語が苦手なので、もっと勉強しておけばよかったと後悔するばかりです。そして、物理は問題の日本語がとても独特な表現なので、さらに苦戦を強いられています。津名高校にいるとき、「（物理の問題を）教えてください。」と来た生徒がいました。来た生徒はその問題を解く力があるのに分からないのです。問題の文章を 5 回くらい読んでもらいます。すると、「なるほど、分かりました。」と言った生徒が一人だけではなく、何人もいました。読めているようで読めていない。「読む」力というのはとても大事だと思ったことを思い出します。マレーシアの生徒も日本と同じ文章を読まないといけませんから、大変です。そして、1 年半で合計 11 単位です。1 年半で全ての範囲をするのですから進むのはやいです。

今月は 10 月 5（土）・6 日（日）は Hari Raya Haji（メッカ巡礼祭（犠牲祭））、10 月 22 日（水）はヒンズー教の光の祭典（Hari Deepavali）（ヒンズー教の正月とも言われてもいます）がありました。夜中にも関わらず花火が打ち上げられていました。そして 10 月 25 日（土）イスラム教の正月（Awal Muharam 1436 Hijrah）がありました。今年にはイスラム歴 1436 年です。

【スコールで学内の大木が折れた様子】



【ヒンズー教の光の祭典（Hari Deepavali）】

光の祭典と言われるほどの写真は入手できませんでした。写真は同僚の先生からいただきました。

